

**Amir Tsarfati 氏 中東情勢スペシャルアップデート 2017年11月26日公開**  
**ゴラン高原頂上より**

.....

ゴラン高原の頂上より、シャローム！今、私たちは、1970年代にイスラエル軍が建てたシェルターの横にいます。今はもう無人です。私の後ろにいるのは、アメリカ、カナダから訪れている素敵な方々です。皆さん、ご挨拶してください！—— Hi！  
カナダも言いましたよね？——ハイ。  
OK、良かった(笑)

今回、フェイスブックライブを行おうと思ったのには二つ理由があります。  
一つは、私たちがどれほど安全だと感じているか、皆さんにご覧いただくためです。私たちからほんの3マイル(4.8 km)離れたところでは、未だに戦争が起こっていますが、ここは、神の御手が私たちの上に置かれていると感じる事が出来る場所です。  
そうですね？——「はい！」

それだけではありません。もう一つお伝えしたいのは、数日前にエジプトで起こった、エジプト史上最悪のテロ攻撃についてです。金曜日(2017/11/24)の朝、310人以上の人がモスクで祈っている最中に大量殺戮されました。場所は、現在はエジプトの一部であるシナイです。多くの人々が、一体どうなっているのか理解できずにいるので、順序立ててご説明しましょう。ご存知の通り、ISISとは「イスラム国・イラク・シリア」の頭文字で、あの地域で蓄積した騒動は、ISISが始めました。恐らく、この5~6ヶ月の間に、ISISは“都会の”本拠地のほとんどを失いました。しかしISISは、砂漠地帯ではいまだに生存し、活動しています。ISISは別の場所に方々手を伸ばしています。現在、シナイ半島では、ベドウィン部族の間で、誰がこの地域のISISの看板を担うかを巡って闘争が起こっています。シナイは巨大な地域、巨大な領土で、残念ながらいつもの如く、ムスリムたちはムスリムを殺し、その数は、彼らが殺すクリスチャンとユダヤ人の合計を上回ります。そして、この72時間のうちにエジプトで発生したのは、二つのベドウィン部族——一つは「スーフィー」、もう一つは「サラフィー」と呼ばれます——スーフィーはハジドムスリムといって、喜び、平和を信じ、家族全員でモスクに行き、平和で家庭的な宗教を賞賛します。

かたや、サラフィーは、攻撃的、暴力的なイスラム教派です。  
そして今回起こったのはサラフィー運動で、ISISの看板を担おうとしたベドウィン部族は、それを行ううちにシナイ半島内のISISの指導者となり、彼らは、あの町の家庭主義で平和を愛するスーフィーを大量殺戮しようと決めたのです。そこで、基本的に何が起こったのかというと、20~30人のテロリストが4台のトラックに分乗してその町を訪れ、モスクに入って行きました。モスクは、金曜日の礼拝に来ていた家族で満員でした。そこで彼らはいくつもの爆破物を爆破しただけでなく、銃を取り出して撃てる限りの人を銃撃しました。さらには、負傷して横たわっている人の所に行き、まだ生きていると分かると、頭を撃ち、最終的には考えられないほどの数、310人以上が、そのモスクの血みどろの床の上で死にました。

次に、一つ説明しますと、エジプトは非常に強い軍隊を持っています。F-16 や戦車エイブラハムスなどを所有していて、設備の整った軍隊です。しかしながら、エジプトの軍隊の全思考の中には、これまで軍対軍の訓練しか考えていなかったのです。つまり、全戦略が戦車やヘリコプター、F-16 といったように、軍隊に対するもので、テロ組織とはどう戦ったら良いのか、彼らにはさっぱり分からないのです。彼らの中には、テロと戦う対策部隊が一つもありません。そのため、テロがシナイ半島全体に癌のように拡がっています。それによって苦しんでいるのは、全く関係のない、家庭的な人々、恐らく平和を愛しているであろう人たち。彼らはムスリムとして、金曜日にモスクに行くことが危険だなんて、考えもしなかったでしょう。現在、エジプトは威嚇し、F-16 でテロ現場を爆撃していますが、皆さんに言うておきます。テロリスト相手にF-16 で戦うことは出来ません。ヘリコプターや戦車でテロリストと戦うことは出来ません。テロと戦う方法は二つだけです。

- ① 諜報機関。現場の人間諜報機関です。つまり、彼らが何かを行う前に、行って捕まえる。
- ② 戦術部隊が徒歩で出て行き、家々やテロリストを直撃する。彼らが犯行を行った後でさえも、です。現在、エジプトはイスラエルのところに来て、援助を求めています。ここ数年の間、テロと戦う事に関して、我々は専門家ですから。皆さんに言うておきます。ISIS は、都市や町は失っているかも知れませんが、しかし砂漠の領土では、彼らはまだ生きており、活動しています。皆さんはニュースで、彼らがこの都市を失った、あの町、この市を失った、と聞いているかも知れませんが、しかし言うておきます。ISIS はいまだに毎日毎日シリア兵やロシア兵、ヒズボラの部隊を攻撃しています。ISIS はまだ、シリア、イラクの両方で生きています。彼らは、都会の真ん中にはおらず、彼らは町や政府の支配地域ではイスラム法を課していないかも知れませんが、しかし砂漠では、彼らは未だ現役のテロリストです。そして、彼らが行っていること、彼らの専門は、砂漠に集まって集団を成し、街へ行って攻撃を仕掛け、また砂漠に戻って再結成する。これが彼らのやり方です。これが、今、彼らがシナイで行っていること。これが、今、彼らがシリアで行っていること、これが。今、彼らがイラクで行っていることです。毎日、毎日です。皆さんは聞いていないでしょうが、アサドは兵士を失っており、ヒズボラは仲間を失っています。ロシアでさえも、毎日仲間を埋葬しているのです。ここからさほど遠くない、シリア国内と、またイラク北部の ISIS の活動のために、です。これが現在の状況です。

もう一つ、数日前に黒海近くの都市、ソチで起こった事を説明しましょう。ヴラディミール・プーチンが、バッシヤール・アサドを客として招待して、——今、シリア側から銃声が聞こえましたね。もっと聞こえてくると思います。もっともっと銃声が聞こえますよ。さらにもっと聞こえて来ますよ。現在、ここから2~3 マイル (3.6~4.8 km) ほど離れたところで、反政府勢力と政府勢力との間で激しい戦闘が起こっていますから。聞こえて来ますね。シリアの内戦の音が聞こえて来ます。私はここに週に一度、場合によっては月に一度は来ますが、いつも同じ音が聞こえて来ます。私たちはここにいて恐れませんが、彼らは恐れています。私たちはここにいて、“存在の危機”を恐れることはありませんが、彼らは恐れているのです。我々の周りでは、人々が、全地域が崩壊しています。しかし、イスラエルは未だ立っています。といっても、私は自分たちの兵や軍を自慢しているのではなく、私は主を自慢しているのです。

#### 4 …イスラエルを守る方は、まどろむこともなく、眠ることもない。

(詩篇 121:4)

これは、約束です。

聖書には、アモス書9章にこうあります。神は、イスラエルの民を地に戻すだけでなく、絶対に再びこの地から根絶やしにはしない。これが、神の約束です。ですから、皆さん、理解しておいてください。

先週、公式に世界中に発表されました。正式に、シリアを支配している新しい同盟。つまり、ロシア、イラン、トルコの同盟です。ついさっきまでは、舞台裏のこととして伝えていましたが、もはや舞台裏ではありません。これは、ヴラディミール・プーチンによって世界中に発表された、正式な立場です。彼は、基本的に、トルコとイランに向けて次のように述べています。

「シリアに平和をもたらす働きにおいて、あなたがたは私のパートナーだ。」

言っておきますが、シリアに平和はありませんよ。シリアには、絶対平和はありません。しかし、平和に見せかけることが、彼らには重要なのです。何故なら今、ヴラディミール・プーチンは自分に言い聞かせているのです。

「経済的にも、兵士の命も、これだけつぎ込んだんだ。今度は、私の労働の実を楽しませてもらおう。」  
ガスの利益を、私に渡せ。石油の利益を、私に渡せ。これら全てにおいて、私の分け前を頂こう。  
これですよ。これが、ロシュをこの地域に引きずり出し、ここへ導く鉤（エゼキエル 38:4 参照）。

それから、もう一つお伝えしておきます。この3~4日のうちに受け取った報告、巨大な地上の動きです。我々が立ち入りを禁じられている地域への移動、と言っておきます。トルコ側からシリア側へ、大量の地上軍の移動、イランからシリアへの大量の空の移動です。彼らはシリア国内に、巨大な軍駐留を建てています。そして、私たちは知っていますね？あちらの大勢力が最終的にどうなるのか。聖書は、2,800年前に予告していたのです。イスラエルが、かつてなかったほどの大勢力から攻撃を受ける日がやってくる。それはロシュによって率いられ、ペルシャ、ゴメル、ベテ・トガルマも共にいる。つまり、トルコ、イラン、ロシアが率いる、イスラエル攻撃。このような同盟は、これまで一度も存在したことがないのです。それが現在存在しており、我々のまさに目の前で起こっています。彼らは、我々から5マイル（8 km）のところにいて、自分たちがやりたい放題行うその瞬間を待ち構えているのです。現在、中東で足りないものは、その侵略のキッカケとなる火を点けるマッチだけです。そのマッチが何であるか、私は知っているつもりです。イスラエルはこの数週間の間、何度も何度も繰り返し言うてきました。ネタニヤフは、ロシアにもアメリカにも、国連にも、さらにイギリスにも、全世界に対して何度も何度も言いました。

「我々の国境のこれほど近くに、イランが駐留することを、我々は認めない。」

そして現在、ロシアが言っているのは

「イランのシリア駐留は、合法だ。」

イスラエルは考えを計算し直しています。

二日前、ヒズボラは、

「今すぐにでもイスラエル攻撃を行うつもりだ。」

と発表しました。

昨日、国連事務総長が言いました。

「イスラエルとヒズボラの間で戦争が起こる可能性は、甚だしく高い。」

そこで現在、我々が問うべき疑問は、誰が、誰と我々の所にかかって来るのか。この地域に嵐が巻き起こる、それほどまでに強力な形で我々が報復しなければならない相手とは、いったい誰なのか。

以上です。我々は、ここで何が起きているのかを理解しようとしています。イランが興味を持っているのは、ただイスラエルを戦争に引きずり出すことです。そうすれば、大きいサタンを滅ぼすことが出来るからです。ともかく、要点は、イランもしくはヒズボラが、何か馬鹿な事をしてイスラエルが報復、結果戦争が起こる事になるのか？レバノンではなく、そこで。私たちには、分かりません。しかし、一つ私たちに分かっているのは、イスラエルによる、イランもしくはダマスカス近郊のイランの駐留の攻撃によって、ダマスカスの破滅をもたらし、それが連鎖反応でやがてエゼキエル 38 戦争になるのかも知れない。様々な可能性があります、一つ確かなことは、昨日今日の解説者は全員間違いで、2,800 年前の預言者たちが全て正しいということです。そこで、皆さんの全員にお尋ねします。今日、あなたは誰を信じることを選びますか？

政治家か、軍諜報機関か？新聞か、メディア人のメディアか？

それとも、神の御言葉か？神の御言葉は、今私が言ったどれよりも、もっと正確で、もっと信頼でき、もっと現実に基づいていることを、私たちは知っています。ですから、皆さん全員にお伝えします。預言も正確であり、私たち全員に対する、神の約束も同様に正確です。私たちは、私たちに与えられている大きな約束を知っています。祝福された希望。最大の戦争、最大の裁きの時に、私たちはこの世のここにはいません。不法の人、滅びの子が現れる時には、我々はここを出て行くのです。つい先日、感謝祭を祝ったところですが、感謝祭の何週間も前から、クリスマスの電飾はすでにそこら中の木や家に飾られていました。そこで、我々がいなくなった後に起こることが見え始めたら、我々の贖い、ローマ書 8 章、この世からのからだの贖いが、物凄く近いことが分かります。

二日前、カイザリアにいた時に、私たちが学んだのは、クリスチャンの人生は競争のようだ、という事を、私たちは理解しておかなければなりません。我々は競技場において、私たちは忍耐をもって競争を走らなければならない。そして、褒美があちらで私たちを待っていることを、忘れてはいけません。私たちのゴール、最終地点はここではなく、↑ あちらです。聖書は私たちに、走り続け、信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい、と伝えています（ヘブル 12:1~2 参照）。イエスは現在、御父の右に着座されて、我々のためにとりなしてくださっています。

ということで、ゴラン高原の頂上、シリア国境から 3 マイル (4.8 km) の場所から、あちらで起こっている内戦の銃声を聞きながら、こちらでは穏やかで暖かで平安の中、皆さんにお伝えします。ありがとうございます。God bless you!

信仰を保って、競争を走り続けましょう。神の約束は「然り」そして「アーメン」であることを忘れないで。世は狂い、欺きが至る所にはびこっていますが、最も正確で、信頼でき、事実に基づいた情報源、神の御言葉を信頼しましょう。それを握りしめ、いのちのことばを握りしめて、真理の御言葉を宣べ伝えるのです。そうすれば、この競争を無駄に走るようなことにはなりません。ありがとうございます。God bless you!

2017年11月26日 中東情勢アップデート ビホールド イスラエル

皆さん、さよならをしましょう。

“Good bye!”

近いうちに、皆さんもイスラエルでお会いしましょう。God bless you! Shalom!

---

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>